

学習内容報告書 フォーマット

学校名	宿毛市立小筑紫中学校
授業者	藤原 青至

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海の学習「自分たちの地域にある美しい海を残すためにできること」

1-2. 学年

全学年（1～3年）25名

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合・理科・社会

1-4. 単元の概要

昨年度と同様にSDGs 14や国際海岸クリーンアップ（ICC）の活動の内容を学習し、自分たちの海がどのような状態になっているか、日本で問題になっているゴミを近くの海岸や観光地などの海岸で調べ、実際に海の中の状態を知る。（ボランティア活動も含めゴミ拾いも兼ねる。）
ゴミを減らし、美しい豊かな海を存続していくにはどうすればよいか、自分たちにできること、将来的にどういう活動を行っていけばよいか考え、まとめる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

自分たちが住んでいる地域の美しい海の海岸に、少しずつゴミの量が増え、海の汚染が進む中、豊かな海を守るためにどのような活動が行われているか実際に海の中を観察し現在の状況を知り自分たちにできることは何か、また、海岸に流れ着くゴミにどのような種類、物が多いかを知り、ゴミを減らし、美しい海を保つために自分たちはどう行動していけばよいかを考えさせ、実行させる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

地球温暖化の問題や美しい海を残すためにはどうすればよいか考えることで、環境問題に着目させ、自分たちの生活の中の課題として、その解決のために自ら行動する態度を養う。

1-7. 単元の展開（全 14.5 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
4 月 13 日 0.5 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・サニーサイドパーク公園周辺の海岸ゴミ拾い 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生歓迎遠足 ・海の学習の意義と今後の取り組みを指導
7 月 9 日 4 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・「黒潮生物研究所」で研究所の役割や現在の海の状態を学習。 ・研究所の内で育てられているサンゴや生物を観察。 ・近くの海岸に海の生物採取に行き、持ち帰って名前や種類を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒潮生物研究所の研究員さんの話を聞く。 ・研究所内の生物の説明を聞く。 ・とってきた生物名前や種類を図鑑等を使って調べ研究員さんから詳しい説明を聞く。
9 月 6 日 4 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に実施予定だったシュノーケリングが、波が高く実施できなかったため、生徒の要望でもう一度「黒潮生物研究」に行き近くの海でシュノーケリングの体験学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究所の職員の方々がインストラクターとなってシュノーケリングを体験し、海の様子やどのような生物がいるのか実際に確かめた。
11 月 5 日 、 19 日 4 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で「小筑紫フェスティバル」で発表する内容を4時間程度確保し、それぞれが準備を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1年 <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物の紹介とシュノーケリング体験の発表 ○2年 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを捨てないように「看板」の制作 ○3年 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の海の状態とごみの種類や、どのようなゴミが海を汚染しているのかを調べ、発表。

11 月 20 日 0.5 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・小筑紫フェスティバルで各学年別に「海の学習」の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年が20分程度調べたことをパワーポイントにして、保護者や見に来てくれた地域の人々に発表した。
11 月 4 日 1 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生と一緒に漁港の堤防と、サニーサイドパークへ看板設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に漁協と市に許可をもらい、2年部の教員と生徒、管理職が行って設置した。
3 月 8 日 0.5 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・お別れ遠足でゴミ拾いを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の学習」のまとめとして、もう一度これまでの学習の振り返りを行い、みんなでゴミを拾った。

2 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

ゴミの多さに気づき、どんなゴミが流されてきているか、SDGs 14 の活動の意義を知り、海に及ぼす影響を知る。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>海岸に降りてごみの収集を行う。</p>  <p>採取したゴミの種類を調べる。</p>	<p>ごみの多さに気づかせ、これからの取り組みを確認する。</p> <p>プラスチックごみが多いことに気づき、自分たちでできることを考えさせる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

生徒の感想より

- ・小さな浜なのにたくさんのゴミがあった。なんでこんなものがあるのかわからないものもあり、いろんなものを海に捨てる人がいることが分かった。
- ・これから美しい海を残していくために、海の学習をしていくので頑張りたいと思った。
- ・今年は、昨年の続きで海の学習を行うので、何か形に残るものをしていきたいと思った。

4. 今後の課題

- ・今回のゴミ拾いで、「海の学習」の各学年での具体的な取り組みを決めるきっかけとさせていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・今年度も、いろいろな活動や体験を通して小さなことでも、自分たちで出来ることを見つけていきたいと考えている。

2 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ






単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

実際に近くの浜辺に行き、黒潮生物研究所での学習やシュノーケリング体験を通して海の学習を行う。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>黒潮生物研究所でどのような活動をしているのか説明を受け、海の生物の観察と採取を行う。</p>   <p>採取した生物を、どのような生物か調べる。</p>	<p>最近の海の変化をわかりやすく説明する。 実際にシュノーケリング体験を行い海の中がどのようなになっているか知る。 サンゴやイソギンチャクの仲間の種類の多さやどのように繁殖しているか繁殖するためにはどのようなことが必要になってくるか知ってもらう。</p> <p>実際に浜に行き生物の採取を行う。</p>
 <p>調べたことを発表する。</p>	  <p>採取した生物の名前や種類を調べ形は違っていても、同じ種類であることなどに気付かせる。</p>
<p>別日になったが、シュノーケリング体験を行った。</p>  	<p>実際に海の中を見て、自然の豊かさに気付かせる。</p>  

3. 今回の活動の自己評価

生徒の感想より

- ・今日の海の学習で、研究所の話を知ったり、実際に海の生物採取・調べ学習を行いました。ウニだけでもたくさんの種類があって驚きました。みんなが協力して小さな浜なのにたくさんの種類の生物をとることが出来ました。いろいろなことが分かったので、これからは魚や貝、サンゴにも目を向けてみたいと思います。
- ・研究所の話を知る中でテレビにサンゴの写真とかあって、高知の海は魚もサンゴもたくさんいてすごいと思ったし、自然が多く残っていると思いました。採取した生物を調べるのは難しかったけど、たくさんの種類が知れて楽しかったです。
- ・研究所の中にはいろいろな部屋があって、クラゲの標本やオニヒトデや生きているサンゴもあって、サンゴがきれいな色をしていました。地球温暖化やごみ問題などで海の環境が悪くなっているので一人ひとりが海を大切にしたらいいと思いました。

4. 今後の課題

- ・自分たちが住んでいる近くの海の中にいろいろな生き物が住み、たくさんの自然が多く残って居ることを知り、どうして行けばこのような美しい海を守れるかみんなと一緒に考えていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・今年度は2年間の調べたことを発表でき、啓発活動も行うことができた。いろいろな活動や体験を通して学習していくためには費用もかかるが、これからは小さなことでも、自分たちでできることを見つけ今まで学習したことを活かしていきたいと考えている。

2 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

各学年で、発表に向けての調べ学習や原稿づくり、看板作り(2年)を行う。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 年 黒潮生物研究所での学習をまとめ、海の生物を中心に調べ学習を行う。</p> <p>2 年 自分たちの住む地域の美しい海を守るために、ごみを捨てないように看板を設置するために看板製作に取り組む。</p> 	<p>身近な浜にもどのような生物が生息していたか、多くの生物を守っていくためにはどのようなことをしていかなければならないか考えさせます。</p> <p>どのような言葉かけや看板を作ればいろいろな人にきれいな海を守ることを訴えることができるか考えながら制作をさせる。</p> <p>昨年度や今年採取したゴミを調べ、どのようなゴミが多く、そのゴミがどのような影響があるか調べさせる。</p>
<p>3 年 海を汚染しているごみがどのような種類が多いか、どのような影響があるか調べる。</p>	

3. 今回の活動の自己評価

・各学年とも文化祭での発表に向けて時間が限られた中しっかりと取り組めた。1年生と3年生の学習の写真を取ることを忘れていた部分が残念だった。

4. 今後の課題

・各学年で取り組んだことを、文化祭で発表するのだが、聞いている人にしっかりと伝えることができる発表にするために準備をしていく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

・2年間のまとめとして、保護者や地域の人々にしっかりと伝わる発表にしたい。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ




単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

文化祭でこれまで学習してきた海の学習の中身と、地域でこれからもきれいな海を残していくためにみんなで考えていくことができる発表にする。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
各学年で調べた事や活動を発表する。	聞く人に分かりやすく、しっかりと聞こえる声で発表する。
1年  2年  3年 	

3. 今回の活動の自己評価

生徒の感想より

- ・どの学年もこれまで学習したことをしっかりと発表出来ていた。
- ・緊張したけど、みんなが真剣に聞いてくれていてよかったです。

4. 今後の課題

- ・今回の発表をきっかけとして、家庭でもきれいな海を残していくためにできることを話し合う機会を設け、地域に広げる活動を考えていく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・海の学習の発表をきっかけとして、現在の社会にどのようなことがおこっているのか、より興味を持つようにさせていきたい。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

2 年生が作成した看板を設置する作業を行う。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>許可をもらった 2 か所に看板を設置する。</p> 	<p>人が見やすいように設置する高さ等を考えさせる。</p>  <p>設置場所の職員さんにも同行してもらった。</p>

3. 今回の活動の自己評価

生徒の感想より

- ・この看板を見て、少しでもごみを捨てる人が少なくなればいいと思いました。
- ・看板づくりには時間がかかったけど、これでゴミが少なくなればいいと思いました。

4. 今後の課題

- ・設置する場所の許可が必要で、許可が下りるまでに時間がかかったところもあったので、もう少し町全体が環境に敏感になることが必要だと感じた。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・この学習を行った生徒たちが、大人になったときに環境について配慮できる人になってほしいと思っている。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

今年度の最終学習として、お別れ遠足で全員がゴミ拾いをし、これまでの活動の振り返りや、環境問題にこれまで以上に興味・関心を抱いてもらう。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
全校生徒で海岸の清掃を行う。 	これからも、美しい海を残すことを考えてもらう。 

3. 今回の活動の自己評価

・どの学年も積極的にゴミ拾いに参加しており、これまでの学習が生徒たちの成長につながっていると感じた。

4. 今後の課題

・ゴミ拾いで拾ってきたゴミを学校に持ち帰り、仕分けをしてごみの日に出すのだが、仕分けの時間がかかる。ゴミを出さない、捨てないことも学習に入れていかなければと感じた。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

・普段の生活の中にゴミの問題があり、ごみを減らす意識を学校全体で考えていく。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。